

むらやま・学校統合だより <GO TO TO-GO>

第10号



編集・発行
村山市教育委員会
学校統合推進室

統合 タイムズ

統合推進、この一年〔総集編〕

2年後の西部地区の学校統合まで、カウントダウン730日となりました。
今年度(令和7年度)は、西部地区の統合準備委員会に続き、東部地区でも統合準備委員会が発足し、事務局の統合準備室と合わせ、統合に向けた準備の組織体制が整った年でした。

この間の動きを、昨年7月に創刊した「統合タイムズ」で、随時レポートしてきましたが、今年度最終の発行にあたり、「総集編」として、この1年の動きをまとめ、ふりかえります。(2面一覧表参照～「統合タイムズ」がレポートした統合の動き～)



東部地区統合準備委員会(第1回)辞令交付



令和7年度 総合教育会議(第2回)

令和7年	項目(主にスタートした事業等をピックアップ)	プチコメント
4月	1日:教育委員会(学校教育課)内に 「学校統合推進室」設置 ～本格的な準備体制がスタート～	事務局体制整備 学校教育課 学校統合推進室
5月	28日:西部地区統合準備委員会(R7初)	西部準備委員会は、 昨年令和6年7月発足
6月	10日: 東部地区統合準備委員会 発足 15日: 『統合タイムズ』発刊【創刊準備号】	年度内10号発行
7月	1日:東西各部会作業班の作業スタート 15日:葉山学園制服分科会 発足 16日: 葉山学園「実施設計」スタート	※葉山学園: R7年度は実施設計 R8-9年度に工事
8～12月	作業班・部会等 随時開催	
令和8年 1月	15日:東部統合小学校・校名募集開始 (～2/15)	応募総数: 1か月で全258票
3月	10日:第4回 東部地区統合準備委員会 12日:第10回 西部地区統合準備委員会 18日:第2回 総合教育会議	今年度最後の委員会 【全体会】開催数 ～西部地区6回・ 東部地区4回～



本年度創刊した「統合タイムズ」(準備号・1号～10号)



実施設計をもとに描いた「内観パース～教室～」(完成イメージ図)

《「統合タイムズ」の内容等は裏面参照》

統 成人語

「本人も、村山市を生まれ故郷としており、村山市を出身とする方が自然なのである」、これは明治から昭和を生きた日本画家小松均を紹介した『村山市史(芸術文化編)』の一節である(224頁)▼「出身地」には、①生まれた土地、②幼少期に長く過ごした場所、と2つの意味がある。引越した人などは、どこに「帰属意識」を持つかで出身地を決めるケースも少なくないという。この点、言葉を仕事にしているNHKのアウンサー情報(検索ページ)では、「出身地(生育地)」と表現している▼来月3日から、山形美術館で「小松均展」が開幕する。水木しげる展と並ぶ同館の目玉事業だ。小松は大石田町豊田(深堀)で生まれたが、均が生後一年と四日目で父が急逝し、母の実家である白鳥宮下の細谷家に母子ともに引き取られ、ここで育ち、白鳥尋常小と富並高等小で学んだ▼「超俗の大画人」と評される小松均晩年、代表作「最上川」を描いた。その人格や芸術の素地が育まれた地はどこか「出生地」は大石田かもしれないが間違いなく「生育地」は村山市!って本人も言いたいのではないかな。

※県遊学館(県立図書館)のシンボル・タペストリー(大絨毯)は、小松均の代表作「最上川」です。

統合タイムズ
(全11号発刊)**西部(葉山中学校区)****東部(楯岡中学校区)**

■村山市の学校統合に関する情報紙「統合タイムズ」は、A4版両面カラー刷りを基本とし、随時発行します。
1面では、①お知らせしたい「トピックス」(話題)と②学校や教育に関する話題のコラム「統成人語」からなり、
2面では、③1面の詳細や図表 をベーススタイルとしています。(※バックナンバーはホームページに掲載)

号数	発行日	1面 (上部太字はトピック/下段はコラム「統成人語」)	2面 (取り上げた主な内容)
創刊準備号	2025年 6/15	1.統合基本計画 2.統合準備委員会 ・コラム統成人語:「学制改革以来の大改革/GOTO統合」	表1) 統合基本計画の基本的3要件 表2) 統合準備委員会の設置要綱/専門部会検討事項
第1号	7/1	■西部地区の学校名称「葉山学園」に決まる ・「山響創設名誉指揮者村川千秋さんと四季の郷」	○市報に掲載した「学校統合だより」(再掲) ○東西準備委員会での検討項目・専門部会の紹介
第2号	8/1	■統合準備委員会の決定プロセス ・「①(1)と辞書編纂ドラマ「舟を編む」・学校(船)を編む」	○統合準備委員会の委員名簿(令和7年度) (東部地区20名・西部地区16名)
第3号	9/1	■校舎整備に向け、リノベーション改修研修会・勉強会 ・「二刀流と“二兎追う流人生”とお百姓(百刀流)」	○「義務教育学校」の特徴～メリットと課題～ ○学校統合だより(葉山学園の校歌に関するアンケート)
第4号	10/1	■コミュニティ・スクールの導入にあたって ・「明治翻訳語の情報・社会とコミュニティ・スクール(CS)」	○コミュニティ・スクール基礎知識 (学校運営協議会3つの機能/導入背景・ねらい)
第5号	1/1	■総合教育会議(第1回) 12/23開催 ・「県の形はヒトの顔似 市の形はウサギ(ラビット)似」	○〔表〕令和7年第1回 総合教育会議の議題と 協議内容一覧
第6号	2026年 1/15	■東部地区小学校 校名募集 ・「ネーミングは難しくもあり面白くもあり」	○東部地区の新しい学校名称募集(募集要項) (応募用紙の様式/募集期間ほか)
第7号	2/1	■西部地区統合校「葉山学園」校舎の改修概要 ・「一日の判断回数と心理学と県内大学学長の専攻分野」	○葉山学園のリノベーション概要(改修案) (平面図・内観パース・工事スケジュール)
第8号	2/15	■コミュニティ・スクール学校向け研修会開催 ・「接頭辞「ユニ」と「イグ」と不登校の呼び方「ユニパス」	○コミュニティ・スクール研修会の内容 ○研修会資料より(ポイント図解)
第9号	3/15	■市の学校再・準備は着々と(ふりかえり) ・「ベジファーストと血糖値スパイクと「食」の重要性」	○村山市の児童生徒の70年間の推移(グラフ) ○村山市の学校統合再編・経過一覧(表)
第10号	3/25	■統合推進、この一年(総集編) スタート関連 ・「山形美術館・小松均展開幕と「出身地・生育地」	○「統合タイムズ」(全11号の内容) ○葉山学園の制服をどうするか(協議中)

◆気になる制服 ～話し合いの一端を紹介します～**葉山学園の【制服】****○《葉山学園》の制服をどうするか問題**
～「分科会」を設置し、現在、鋭意協議中～

“村山市初”となる「義務教育学校」。

制服をどうするかについては、様々な意見があります。制服のいるいらないから始まり、制服を導入するならこんなデザインがいい、式典の時だけの着用でもいいのではないかな...などなど。

制服はとても関心の高い項目ですので、多くの人の意見を踏まえ、また、慎重に協議を進める必要があることから、準備委員会の部会とは別に、「制服等分科会」を設置し協議を進めています。

現在までの協議では、義務教育学校の学年割に合わせ、前期ブロック4年-中期ブロック3年-後期ブロック2年の計9年間で3つのブロック単位でどうするかを考えることとしています。

中期ブロックは「標準服」でどうか、後期ブロックは、従来のような「制服」が必要ではないかといった議論となっています。

最終的にどのように決着するかは、まだ見通せない状況にありますが、開校を2年後に控え、早めにどうするかの方角性を出せるよう、議論を加速させる予定で頑張っています。

■人事異動(統合推進関係)**旧(3月31日まで)****新(R8(2026)年4月1日から)****教育長**

大内敏彦(退任/令和4年11月～)

工藤幸吉(令和8年4月1日付新任)

教育指導室長

村田 紳(転出:楯岡小校長)

鈴木和典(前任:尾花沢・福原中学校長)

学校教育課課長補佐

高橋留美(子育て支援課長へ)

保科孝司(福祉課長補佐から)

同 指導主事(主査・係長)

森谷洋子(転出:大久保小教頭)

小幡英昭(転入:楯岡小より)

耳より情報
(1面コラム関連)**■山形美術館「小松 均展」2026.4/3(金) -5/24(日)**

～村山市ゆかりの小松均。展示会でも最大級の展示数/ぜひご覧ください。

**■NHKアナウンサー検索のページ**

～「出身地(生育地)」に「山形」と入れて検索してみてください。村山市出身のお二人がトップにです！

